



刊夕 日六十月一十
日刊日新聞
日休刊一ヶ月廿五
郵料十五元一月
廣告料 一行四十
場所指定 二十
發行所 牛谷政
福馬縣平大 三
新いわき新聞社

十二萬圓の災害豫定 八萬圓に減額さる

平土木管内の八十個所を 二十余ヶ所を減じて

平土木監督管内に於ける昭
和十一年度の災害復舊工事に
對する査定は去る八日大石内
務技師四名出張管内の豫
定せる橋梁河川道路八十ヶ所
この工費十二萬圓を去る十四
日をもつて調査を終つたが結
局縣の削減を合せて五十ヶ所
に減じられ左記八萬圓を來る
縣會を経て十二年度の施行に
なる筈である

石城將校會の總會 昨十五日マルトモに於て

石城郡在軍將校會は昨十五日
午前十時から平町マルトモ
に總會を開き會長齋藤少
佐の挨拶ありて幹事大間特務
曹長藤野會計の報告をなした
へで福島縣區將校會委員四
家少佐から委員會の狀況報告
後將校會規約改正に伴ふ役員
の改選に入り此の更始一新の
説もあつたが結局一部の改選
と云ふことに決して會長に齋
藤少佐留任副會長に志賀繁中
尉並に松本幸平少尉を決定し
事及び評議員は方部的關係も
あるので會長に一任し審議の
上で囑託なす管で議了万歳三
唱の後簡潔な宴會を催して散
會した

石城郡方面 委員會

石城郡方面委員の總會は昨十
五日前九時から内郷村淺野
記念會館に於て開催百餘名の
出席で午前中打合せを終つて
中央會社事業協會總務部長
原泰一郎氏の講演あり午後
懇談に移り出として結構豫防
に關する協議を練り尚ほ四家
（平職業紹介所長）委員から職
業紹介に就ての協力を望まれ
て閉會したが縣から昭治社
事業主事出席した

平商校主催 珠算競技

平商業學校主催石城郡下選手
權の珠算競技は去る十四日
同校に於て催され一部（小學

公設質屋の新築

石城郡湯本町では去る十三日

常識講座

フエシニングは西洋で
發達した剣法で主とし
て斬ることよりも心臓
部を突くことを修練す
る、從つて守備の方も
胸部に向つて来る剣先
きを拂ひのけるのが主
要なものであるようだ

植田町の 小濱に異變

最近海濱の枯死
石城郡植田町の小濱は鮎の名
産地であるが最近同海岸の藻
類が枯死するので或は隣地錦
村の昭和八年度工場の排水
有海水の影響でないかと調査
をなしたといふ一方之れが試
験のため岩手縣水産試験場か
ら子鮎百貫目を取寄せて放飼
し明年度の採取期の成績を見
て對策を講ずる由である

農銀支店長披露

縣農銀平支店長菅保平氏は伊
達氏の後任に就いたが今十六
日午後五時平町谷口樓に於て
就任披露を兼ね業務上の懇談
の爲め地方有志を招き宴會を
催す

蝗で運動具購入

石城郡水戸村の渡戸小學校で
は此の程全校生徒を以て捕つ
た蝗二石三斗を賣却二十圓餘
を得たので火鉢一個とボール
其の他の運動具を購入した

磐女の音楽會

縣立磐城高女では去る十九日
午後零時から同校講堂に音楽
會を開催するが出演者は東京
音楽演奏會のメンバーで會費
は三十錢である

臨時出納検査

平町臨時出納検査は今十六日
午前十時から左記検査委員に
よつて行はれた
小野伊佐治 關内正一 鈴

周旋屋の横領

平町五丁目の人形周旋業青木

江名仲の作沖で 揚線網漁船坐礁 昨夜十時頃入港の際

木光吉 吉田重輔 吉田一 五平の諸氏
茨城縣多賀郡豊浦町の川尻金
成寅次郎所有揚線網漁船小貝
丸三十六噸は昨十五日夜の十
時頃石城郡江名町の作沖に
入港の際誤つて坐礁し船底を
他に一千圓の損傷を受けた
が地元元應援を受けて引揚げ
作業に従事せる同船乗組員
福岡忠太(三)は片足に骨折及
び同じく鈴木兼吉(二)は左頸
部を負傷し何れも全治三週間
を要すると

運轉助手の 詐欺窃盜

十數件の況を吐く
田村郡三春町の字北見町渡邊
善金(三)は石城郡湯本町の入
山炭礦に働いてゐた去る九月
二十九日同炭礦倉庫所から
逃走の際同宿の島津政志所有
の編上げ靴一足價七圓を窃取
し小名濱町に於て金正自動車
業方へ運轉助手に入り何喰は
ぬ顔であるところを昨十五日
平署に檢舉取調への結果郷里
三春町で三件湯本町に九件の
詐欺窃盜あるを自白した

舊惡の露見

東白
川郡鮫川村の西山字落合二〇
炭山坑夫我道政(三)は昨年十
二月中石城郡湯本町の入山炭
礦鬼澤倉宿所から同宿中の錦
仙卷一枚外衣類一枚價十二
圓を窃取逃走し去る六日再び
入山炭礦に來り同礦青葉集
内倉宿所に入り何喰はぬ顔で
働いてゐるのを其筋に發覺し
て昨十五日平署に取押へられ
十四日平署に檢舉された

酒の上の喧嘩

石城
郡川前村の縣前酒造代松
三は去る八日夜自宅に於て同
郡下小川村上平橋本万次郎
と飲み合せて口論の末橋本
が用便に立つた背部から突然
同人をつき刺し頭部を蹴つて
全治三週間の傷害を負はせた
こと發覺し今十六日平署に檢
舉取調中である

他人の物を賣る

石城郡赤井村の今田久治(三)
は平町の仲町炭礦業田中秀雄

俵米の検査助手

双葉郡米穀同業組合では新米
出廻盛期に於ける検査能率を
今晩は北東の風、曇
明日は南西の風、曇
増進すべく三百五十圓の豫算
を以て左記検査員助手五名を
來る二十一日か、明年一月中
旬まで乙種検査地に配置する
ことになつた

富岡特信

双葉郡上岡信用組合は米穀肥
料雜貨等の購販で毎月平均五
千圓の賣上げを算し半期決算
に六百圓の純益を見る好成绩
であるが同組合の親柱である
山田二郎氏が固疾のため東北
大學杉村外科に永い入院中で
あるのを遺憾とされてゐる

雄發世橋村泉田正久龍田 村坂本盛夫(以上)

神奈川縣下
の選挙違反
の問を
なすことは
だれも
だれも
だれも
だれも

農業方面

緬羊講座 (9) 本縣經濟部

八、緬羊の飼育法
 (イ)飼料、緬羊の飼料は牛馬と同様であるが其の範圍は極めて廣く、あらゆる雜草を食ふもので歐米に於ては緬羊は農場の掃除夫なりと云はれるほどで粗飼料としては牧草、畦畔、堤畔、山林原野の雜草、藜、蕨、大小豆莢、苜蓿、沙、甘藷莖及び蕪菁、ビート、甘藷、馬鈴薯等の根菜類、青刈大豆、紫雲英、青刈麥、ザトウキョクテン、加奈陀豌豆等の綠肥田作物を用ひ、濃厚飼料としては大麥、燕麥、玉蜀黍、大豆粕、蠶、阿麻仁粕、糞、糞、豆腐粕等を用ひ、而して緬羊を飼養するに當つては是れ等多數の中で其の土地に於て最も金を要せず、容易に得らるゝ適當の品々を選擇し給與すれば宜しいのである而して是れ等の飼料の中には榮養分の濃厚なるものと稀薄なるものとあつて、此の榮養分は有機物(粗蛋白質、脂肪、含水炭素)と無機物(水、礦物質)とあり、又榮養素として欠くべからざるビタミン(ABCDE)を含有するのである、故に其の成分に注意し又一方に於ては緬羊の自然要求に應じて適當に配合し適當の分量を給與することが肝要である、各飼料の中で穀類類は一般に榮養分濃厚であるが其内で玉蜀黍、大麥に炭水化合物を多含し、小麥、燕麥は比較的蛋白質があり、豆類は蛋白質脂肪に富む、根菜類には水分多く炭水化合物を含む。

各専門醫門擔當
磐城共濟病院
 院長 醫學博士 久喜部谷長
 電話 四六一番

元詰 G.H.N. スペイン
ゴルフポートワイン
 甘味葡萄酒 1.10
 何人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です
 (平2) 西村屋藥舗 (電3)

お醤油は ヤマフル
 醤油味 正味 節食料品
 明治生命磐城代理店 山崎與三郎
 電話 本営業部 二一七〇番

便利で 經濟な **日下家政婦會**
 派遣婦を御利用下さいませ
 身元確かで品行方正です
 何をお任せしてもご安心です
 平町字田町十八(西村屋横町)
 ◎ 日下家政婦會
 會長 日下すい子
 電話新設 七二三番

診療科目
 齒科 一般 保存科、補綴科、鑲歯架工科、齒列矯正科、小兒齒科、シラミ科
 一、口腔外科
 レントゲン科
中野齒科醫院
 院長 日本齒科 醫學士 中野惠次
 平町田町(松月堂向ひ) 電話 九〇九番

御婦人用 防寒洋品
 毛糸製コート ¥9.80 ¥11.50
 毛糸製羽織 ¥11.00
 ツルヤ
 平四 電一四〇

移轉お知らせ
 今般スタチ才擴張の爲め左記に移轉仕り候間從前通り御引立の程偏にお願ひ申上候
 平町田町五番地(三丁北裏通り)
齋藤寫眞館
 電話(電)二七一番

外交員至急募集
 固定給 參拾圓以上
 確實なる保證人を要す
 希望者は履歴書持本人面談
 福島縣平町三丁目(電話五八九番)
天地堂本店
 善音器商

薄利多賣 親切第一
 各種自轉車 中古車 全リヤカー 部分品
 販賣及び修繕
 (秋の特賣中)
 今評判の 自轉車店
トキワ商會
 東京製輪自轉車代理店
 平町六丁目(火の見橋下)

和洋鋼鐵、金物問屋
店商屋釜
 九九・九電

労働者壹百名を募集す
 一、現賃銀一日壹圓七拾錢以上
 貳圓五拾錢まであります
 『新規使役後二十日間以内にて十日入坑したる者には居付金として金四圓を贈與す』
 其他精勵次第により賞與金をも付與いたします
 御希望の方は『平驛前伊達屋旅館』方へ御申込み下さい
 石城郡勿來町大日本炭礦
合宿所 佐藤熊藏